

南日本運輸倉庫・アプライズ

ベトナムに新会社

人材育成で人手不足解消

冷凍・冷蔵食品物流に強みを持つ南日本運輸倉庫（本社・東京、大園圭一郎社長）とベトナム人材の仲介を手掛けるアプライズ（同・同、岩堀克英社長）は2020年度中をめぐり、人材育成を目的とした合弁会社を設立する。ベトナムの首都ハノイから、物流業界の人手不足解消を図る。

南日本運輸倉庫では既に多くのベトナム人従業員が商品の仕分け、ピッキングなどの業務を担っている。優秀で勤勉な人材が多いといい、技能実習生・留学生のパート・アルバイトから正社員登用することもある。

現地で日本語と業務の研修を行うことで、コストを抑え、ピンポイントで教育を施す。教育やビザ（査証）申請に必要な費用はアプライズが負担する。住宅手配や渡航手続きも同社が担当する。来日後は南日本運輸倉庫が直接雇用する。

インターシップで行う文化や語学教育の指導内容は両社で作成し、ベトナムの大学と協議して策定する。最終的には、1年後の修了までに日本語検定3級を取得できる

来日希望の現 地学生の力に

新会社は現地の大学などと連携し、インターシップ（職場体験）制度を利用する。勤務内容に合致した物流業務を学ぶ学生を対象に、アプライズが現地で日本語と業務の研修を行うことで、コストを抑え、ピンポイントで教育を施す。教育やビザ（査証）申請に必要な費用はアプライズが負担する。住宅手配や渡航手続きも同社が担当する。来日後は南日本運輸倉庫が直接雇用する。

インターシップで行う文化や語学教育の指導内容は両社で作成し、ベトナムの大学と協議して策定する。最終的には、1年後の修了までに日本語検定3級を取得できる

将来、日本で管理職になれる人材は日本で、現地で管理職になる方が適性が高い人材は現地の法人で採用する考え。両社は今後、人材育成と就労機会の提供に課題がある他国への展開を視野に入れる。また南日本運輸倉庫はベトナム現地での物流事業展開も見据える。

（井上 真理子）



南日本運輸倉庫には優秀なベトナム人従業員が多い

現状、物流企業が日本